



## そら と ひこうき おと ちじょう き 空を飛んでいる飛行機の音が地上にどうして聞こえるの

### おと くうき つた 音は空気をふるわせて伝わる

ものをたたいたり、はじいたり、こすったりすると音が出ます。たとえば、輪ゴムを指ではじいてみると、輪ゴムがこまかくふるえて、ブーンという音が聞こえます。音は、ものがしんどう くうき つた くうき なみ ひろ 音を、音波とよんでいます。

音が伝わるのは、ものと耳の間に空気があり、音はこの空気を仲だちとして伝わってきます。

### ひこうき おと くうき つた 飛行機の音も空気を伝わって

ときどき、ジェット機が、ゴーツと空を飛んでいくのを見かけることがありますね。この飛行機の音も、空気を伝わって聞こえてくるのです。

もともと、飛行機の出すエンジン音は140デシベルくらいあります。デシベルというのは、音の強さの単位のことです。以前はホンといっていました。人の会話の大きさが60デシベル、ガード下の電車の音が約100デシベルです。

音には、速さがあります。音の速さは乾燥した空気中では、1秒間に0度Cのときに、331.45メートル、15度Cのときには340メートル伝わります。

ジェット機が通りすぎて、しばらくして音が聞こえてくるのは、音が聞こえるまでに時間がかかっているからです。（監修 小川 格）

